

マフラー洗浄で故障予防

ティスコ運輸
ディーゼル向け



ティスコ運輸(山形市)は、グループ会社を通じ、ディーゼル車のマフラーなどを洗浄する「DPF・インジェクターの洗い屋」を始めた。写真。排ガスのすすを吸着するDPFなどを定期的に洗浄することで故障を防ぎ、長期的に部品交換のコストも削減できる。

場合は自社に持ち帰り、洗浄機で汚れを取り除く。料金は1台につき5万円、効果は3年間持続するという。

する。1台3万8000円で、年1回の洗浄を推奨している。排ガス規制強化ですすなどの除去装置が増強されているが、ディーゼル車の利用者の多くは装置が故障するまで使っているという。

ティスコ運輸は自社の車両で効果を検証。「マフラー交換には100万円かかる。汚れたままでは燃費悪化や環境汚染にもつながる」(菅原茂秋社長)として、出張診断を事業化した。

子会社のオペティ山形(同)が始めた新サービスは、マフラーなどを1台3000円で出張診断。DPFが汚れている

燃料噴射装置が汚れている場合は、その場で洗浄